

科目名	インターンシップ	英文表記	Internship	H23.3.28		
科目コード	4201					
教員名：野口健太郎，金城伊智子 技術職員名：				作成		
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科	4年	必	履修	3単位	実習	集中講義
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合		
	①学習意欲と職業意識を向上する。実社会に必要な素養・能力・価値観を身に付ける。			①インターンシップ先企業からの評価書（40%）、各学生の製作するインターンシップ報告書（40%）、インターンシップ発表（20%）で評価し、合計点が60%以上で合と評価する。		
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学
			○	◎	JABEEプログラム教育目標	A-1, A-3, A-4, B-1, B-2, B-3, B-4, C-2, C-3, C-4
授業概要、方針、履修上の注意	<p>学校教育と就業体験の結合により学習効果および学習意欲の向上を図り、高い職業意識を育成し、自主性・独創性のある人材の育成を目指す。各種企業・官公庁等での実習（体験）により、修得した専門知識や技術に裏打ちを与えたり、実社会に必要な素養・能力・価値観の必要性を体験・自覚させ、実社会の生きた知識を身につけさせる。</p> <p>受け入れ先企業の中での体験学習であるため、服装やマナーに関しては十分な注意が必要である。企業によってインターンシップ日数に違いがあるため、単位時間が80時間に満たない場合は、事前・事後の企業研究等と課すことによって時間を満たす。</p>					
教科書・教材	教員作成資料					
授 業 計 画						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目
	ガイダンス・企業研究	5	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンスし、インターンシップ先の企業研究を行う。			
	インターンシップ	80	夏季休業中に10～14日間実施する			
	成果報告	5	インターンシップ報告書の作成と発表			
学習時間合計		90	実時間			75
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）						